

1. [今後の地域づくりのあり方について]

大東町会場（大東地域交流センター）

Q8：今年1月に市で発行された防災マニュアルを見ると、地域自主組織に任せているというような書き方があった。各自主組織の中でどういう捉え方をされているのかわからないが、1住民としては、自主組織の中で早く具体的な取り組みをどのような方法でやるのかということ。これを出して済んだということがありがちなので、具体的に建設的にどうするのかということ、大変なことが起きると言う予測をしながら、事前に考えて行かねばならないだろうと思う。原発から30キロ圏内に入っているが、実際どうかわかりにくいこともある。何らかの形で具体的な行動なり、活動なりを起こしてほしい。地域自主組織中心の流れの中で、行政がある程度リードすることも必要ではないか。

Q9：地域づくりのあり方について、地域自主組織3年目を迎えた見直し、良い事と思う。是非、地域の意見を聞きながら、よりよい方向を求めていただきたいと思う。今、交付金やるから地域に任せた、地域の中で必要なことを考えて欲しいということ、一隅を照らすという点では良いシステムと思うが、教育は学校教育と社会教育の2つが大きな柱だと思う。私が見る限り、市の社会教育の姿をどうしても感じるができない。見直しの中の人権の問題やいじめの問題などは地域全体の支えがなければ解決することはできない。市の社会教育の観点から、地域に任せたということで済む話ではない。地域は地域、市は市という車の両輪をさらに機能的に進めるためには、少なくとも年に何回か市の社会教育の姿勢、市の方針を地域で頑張っているものに少しでも聞かせて欲しい。意見をくみ上げながらよりよい形を作っていこうというような姿勢を示して欲しい。今は地域に交付金出すからその中でやって欲しいという形にしかなくなってない気がする。今地域づくりのあり方について見直しをしておられるそうなので、生涯学習を担当している方々も意見をお持ちだと思う。どこでどのように検討されているかは知らないが、やはり検討する以上は地域のかかわりをもっているもの皆含めて議論をしようという姿勢を持ってもらった方が市としての成果も上がると思う。ぜひ考えて欲しい。

A：防災マニュアルの件、自主組織お任せでなく、参考にさせていただき、防災組織を作っていただけではないと思っている。実際災害が起きると、限られた職員では微に入り細に入りの対応が難しい。そこで万一ということがあれば、地域に詳しい皆さま方に配慮を要する方との連絡や避難誘導の対応をしていただいたり、避難所を開設した場合は、地域で助け合っていたいただきながら運営してもらおうという、基本的な流れのものを作ったということでご理解いただきたい。要望のあった出前講座は今まで5回やった。防災組織の話や災害の話をするので、相談して活用いただきたい。原発の災害に関しては、今年うちに原子力災害を想定した避難計画を作る。これは全世帯に向けてどういった所にどういった形で避難するかわかりやすいものを作り配布する。（総務部統括危機管理監）

A：社会教育の姿が見えないとのこと、私ども実際には取り組んでいるが、うまくPRできていないということなので、姿が見えるようにしたい。昨年からはすべての地域自主組織を回った。現在の生涯学習・社会教育の状況について話した。その中で、地域で子どもたちの「ふるまい向上」、しつけ、規範意識の向上、青少年健全育成の観点から、社会教育の立場からお願いしているところ。交流センターになった時、生涯学習はどうかということだった。生涯学習は、学校教育・社会教育・家庭教育が含まれ、教育委員会以外の部局でもそれぞれ事業を行っているし、民間でもされている。雲南市として生涯学習を進めていきたいという事で、教育委員会と市長部局が一緒になって、生涯学習振興行政ということで形をとっている。社会教育は教育委員会が進めるもので、具体的には平成23年度から小学校のうち拠点校7校に教育委員会職員を社会教育コーディネーターとして配置している。また、学校でも様々な体験活動を重視している。体力づくりを地域と一緒にやって行こうということで、寺領小・掛合小・西小、不登校対応で三刀屋小・加茂小、ふるさと教育で大東小・吉田小にそれぞれ配置をしている。更に平成20年からは19小学校に地域の方々に教育支援（旧地域支援）コーディネーターとして入っていただいている。平成21年度からは学校放課後子ども教室も行っている。活動が十分理解されていないことについては真摯に受け止めて広報活動をして行きたい。（教育長）

A：意見交換の場について案内が届いていなかったということについて、5月21日に大東地区の自主組織の役員の方、交流センターの職員さん、福祉推進員さんを中心に意見交換させていただきました。今後も回るので、ぜひご出席いただきたい。都合がつけば社会教育課の職員を同席させることもできる。(政策企画部次長)

Q (再質問)：教育長が言われた事、私は地区の生涯学習部長をやっているが、初めて聞いた。先ほど、地域の意見を聞いていると言われたが、私は生涯学習の取りまとめ役をしているが、そんな話ひとつもない。お互いに同じ方向を求めるにしても、心と心を通じたり、同じ環境を求めるような環境づくりをされないといけない。行政ですべてやることは難しいから、地域の方々と役割分担するのは良い事だと思う。その成果が上がるように仕事の進め方を考えていただきたい。